

今回の補正予算は、国の「日本経済再生に向けた緊急経済対策」等に呼応し、公共事業等の速やかな執行を図るとともに、安心こども基金等への積立てを行うこととした。
また、歳入歳出について現段階における見込みにより精査を行い、今後の財政運営の安定に資するため、財政調整的基金の涵養を図ることとして編成したものである。

I 一般会計歳入歳出予算補正の内訳

1 補正額	103 億	7,270 万円	
うち国予備費分	93 億	8,921 万円	
国補正分	333 億	2,380 万円	
通常分	▲ 323 億	4,031 万円	
2 補正後累計	8,022 億	5,051 万円	
【23年度2月補正後予算額	8,107 億	9,397 万円	比 98.9%】
3 補正の財源			
(1) 地方消費税清算金	▲ 9 億	7,800 万円	
(2) 地方交付税	▲ 12 億	9,713 万円	
(3) 国庫支出金	230 億	1,004 万円	
(4) 繰入金	▲ 155 億	5,213 万円	
(5) 繰越金	44 億	8,661 万円	
(6) 諸収入	▲ 45 億	6,992 万円	
(7) 県債	48 億	9,600 万円	
(8) その他	3 億	7,723 万円	
※ 24年度末県債残高見込み	1兆 1,038 億	3,893 万円	
(臨時財政対策債除く)	6,835 億	8,373 万円)	

4 歳出の主な内容

・職員費	▲ 3,236 百万円	
・退職手当	▲ 2,839 百万円	
・公債償還費	▲ 2,144 百万円	
・基金積立金	25,238 百万円	
・公共事業費	17,928 百万円	
・建設事業費	▲ 1,423 百万円	
・災害復旧事業費	▲ 2,818 百万円	など